



北上記者クラブ加盟者 各位

 **北上市** KITAKAMI CITY

令和7年1月7日
健康こども部 健康づくり課、こども家庭センター
電話：0197-72-8297（直通）

北上市の地域保健活動4件が「第28回チヨダ地域保健推進賞」を受賞

～ 北上市の地域保健 DX の取組が全国区に ～

北上市の*保健師、管理栄養士チームが保健推進のDXに取り組んできた活動4件が、「第28回チヨダ地域保健推進賞」を受賞しました。

この賞は一般財団法人千代田健康開発事業団が各地域の保健師が中心となって地域保健の推進に成果を上げている活動に対して顕彰し、その活動がより発展するよう助成金を贈呈するものです。（例年全国からの応募の中から年間35件を上限に表彰しており、昨年度第27回は全27件で、当市から3件が受賞しました）

昨年度に続く4件受賞は、健康づくり課とこども家庭センターの保健師や管理栄養士の地域保健DXの取り組みと活動が高く評価されたものです。今後も受賞を励みに、保健推進分野での市民サービスの向上に引き続き取り組みます。

北上市健康こども部で受賞した4件の活動テーマ及びグループ代表は次の通り

1. 子どもの発達に悩んだ保護者を支える仕組みづくり～北上市こども療育ネットワーク～
代表 こども家庭センター親子保健係 畑中 敦子
2. 学齢期向け栄養セミナーの初開催～食べて勝てる体づくり～
代表 健康づくり課健康係 高橋 真弓、久保 美友
3. 緩和ケアボランティア育成に新たな道を！～がんを患う市民の社会参加に寄りそう～
代表 健康づくり課成人保健係 志田 光希
4. お子さん連れ安心！子宮がん検診2024
代表 健康づくり課健康係 木地谷 祐子

*保健師は、疾病の予防や健康増進など公衆衛生活動を行う地域の看護職です。

以上

添付：補足資料

補足資料

チヨダ保健推進賞への応募理由

当市では、地域の保健推進を担う専門職は、日々の情報収集や他自治体保健師とのオンライン情報交換会を主催し、担当業務の最新動向やスキルを得ながら、地域保健活動のデジタル変革に取り組んでいます。

その中で、独自に創意工夫して成果が出ている取り組みは、積極的に外部発信や客観的評価を受ける方針で、昨年からチヨダ地域保健推進賞に応募しています。

受賞した活動概要

受賞した活動4件は次の通り

- 1. 子どもの発達に悩んだ保護者を支える仕組みづくり～北上市こども療育ネットワーク～**
児童発達支援に伴う保護者の見えない負担を軽減するために市民に接する保健師チームが北上市独自のデジタル基盤を活用し、市民目線で不便さを解消し続けている取り組み。日本で唯一、児童に療育を勧められた保護者に対して利用可能な市内事業所の提案と必要な申請手続きまでの支援を官民協働で提供するサービスの中心的役割を担い、継続して改善を図っている。
- 2. 学齢期向け栄養セミナーの初開催～食べて勝てる体づくり～**
初の“学齢期向けの栄養セミナー”を年央にも関わらず、“参加者の意識と行動を変える”目標で、創意工夫して開催した、子ども、保護者と職員“三方良し”の取り組み。学齢期の親子やスポーツ少年団のコーチをターゲットに、外部講師の利用、野菜摂取量測定のコナー併設、参加者が発言しやすい進行や座席配置などの開催ノウハウを蓄積。さらに学齢期の児童を持つ保護者が持つ不安というニーズを新たに把握できた。
- 3. 緩和ケアボランティア育成に新たな道を！～がんを患う市民の社会参加に寄りそう～**
近年続いたボランティア会員数の減少傾向に対し、関係する団体組織、患者さん、ボランティアだけでなく、広く市民目線で仲間を増やして持続可能な解決を図っている取り組み。
市民学習会で広く緩和ケアの認知度があがっただけでなく、メディアでの報道を通してボランティアを希望する市民が増える等、期待以上の効果で活動拡大に期待。
- 4. お子さん連れ安心！子宮がん検診 2024**
昨年の「乳幼児の母親は子連れでがん検診に行けない」を解決した取り組みの受賞にとどまらず、待ち時間の短縮に取り組み、検診の市民サービスを向上させる業務スタイルを確立させた取り組み。この取り組みが、職員にとっても負担が少なく、持続性があることを証明したことに加えて、対象者にとっても昨年を超える高い満足度であったことが価値ある取り組みとなった。